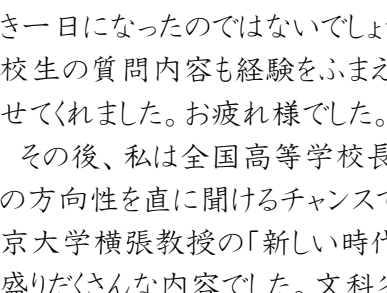


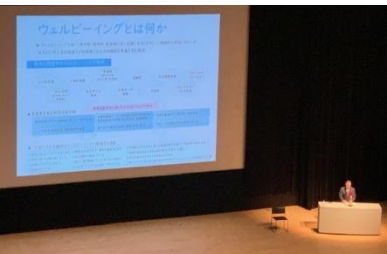
5月16日中間審査中ではありましたが、午後から修学旅行中の高知県黒潮町立佐賀中学校の生徒が本校を訪れ、防災教育に関する交流の時間を持ちました。中学校の防災の取組をパワーポイントで紹介してもらい、環境防災科の生徒がその取組について質問するなど内容の濃いものであったと思います。発表の後は昨年12月に行った防災運動会の種目の一部を体験していただき、地域住民と一緒に取り組む防災について話し合いました。実り多き一日になったのではないのでしょうか。私が参加できたのは短い時間でしたが、本校生の質問内容も経験をふまえた内容となり、さすが環境防災科生と思わせてくれました。お疲れ様でした。



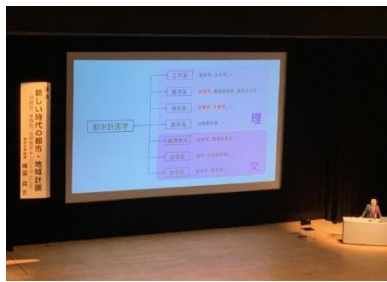
その後、私は全国高等学校長会に行ってきました。4年ぶりの開催で、文科省の方向性を直に聞けるチャンスでした。各ブロックからの代表校の取組紹介や東京大学横張教授の「新しい時代の都市・地域計画」と題された講演など非常に盛りだくさんな内容でした。文科省の行政説明の中には「ウェルビーイング」という言葉が何度も出てきました。意味はWHOが「健康」を定義した中に含まれているのですが、「すべてが満たされた状態かつ継続性のある幸福」を意味し、肉体的、精神的、社会的すべてに満たされた状態をいい、企業でも注目を集めているということです。教師にとっての「ウェルビーイング」の追求は職場の心理的安全性や良好な労働環境、保護者や地域との信頼関係、子供の成長実感であると言われ、まさに現在我々が直面している課題です。また特徴的な話だったのは、教員不足解消に向け、教員採用試験の前倒しや教育実習の見直しを進めているという内容でした。さらには特別支援教育に関する理解を進めていくことに関して、教員免許取得条件や採用試験の加点を考えているなど、高校生は減っているのに特別支援学校への入学生徒は増えている現状をふまえた対応を検討していることも示されました。東京大学横張教授の話では、都市計画学は、多くの要素が含まれ「工学、農学、



理学、医学、経済学、法学、文学」すべてが関係してくるということを考えさせられる内容で一気に引き込まれました。これまで農地・里山は開発予備地として市街地に関係なく并存されていました。それでは、災害の際に食糧供給であったり、避難であったり都市機能の継続を図る上で機能が悪いことから、これからは農地・里山が市街地に食糧や生態系サービスを提供し、そのことから共存共栄を図れるように市街地が農地・里山の持続性を担保していくことが必要であると述べられました。新型コロナウイルス感染拡大から広まったりネットワークにより、遠くにも仕事ができるようになってきており、住みやすさや生活しやすさを追求していく時代になるということです。少し前までは考えられなかったような時代になってきました。人口減の問題もそうですが、都市計画が理系だと思っていた私にとっては、その土地の歴史やコミュニティなど文系要素がふんだんに盛り込まれており、すべてを考えていかねばならないところは、まさに教育と同じであるということに気づかされました。物事を一点から見るのではなく、視野を広く持って、多くの視点から見ることの大事さを確認できました。



「工学、農学、理学、医学、経済学、法学、文学」すべてが関係してくるということを考えさせられる内容で一気に引き込まれました。これまで農地・里山は開発予備地として市街地に関係なく并存されていました。それでは、災害の際に食糧供給であったり、避難であったり都市機能の継続を図る上で機能が悪いことから、これからは農地・里山が市街地に食糧や生態系サービスを提供し、そのことから共存共栄を図れるように市街地が農地・里山の持続性を担保していくことが必要であると述べられました。新型コロナウイルス感染拡大から広まったりネットワークにより、遠くにも仕事ができるようになってきており、住みやすさや生活しやすさを追求していく時代になるということです。少し前までは考えられなかったような時代になってきました。人口減の問題もそうですが、都市計画が理系だと思っていた私にとっては、その土地の歴史やコミュニティなど文系要素がふんだんに盛り込まれており、すべてを考えていかねばならないところは、まさに教育と同じであるということに気づかされました。物事を一点から見るのではなく、視野を広く持って、多くの視点から見ることの大事さを確認できました。



「工学、農学、理学、医学、経済学、法学、文学」すべてが関係してくるということを考えさせられる内容で一気に引き込まれました。これまで農地・里山は開発予備地として市街地に関係なく并存されていました。それでは、災害の際に食糧供給であったり、避難であったり都市機能の継続を図る上で機能が悪いことから、これからは農地・里山が市街地に食糧や生態系サービスを提供し、そのことから共存共栄を図れるように市街地が農地・里山の持続性を担保していくことが必要であると述べられました。新型コロナウイルス感染拡大から広まったりネットワークにより、遠くにも仕事ができるようになってきており、住みやすさや生活しやすさを追求していく時代になるということです。少し前までは考えられなかったような時代になってきました。人口減の問題もそうですが、都市計画が理系だと思っていた私にとっては、その土地の歴史やコミュニティなど文系要素がふんだんに盛り込まれており、すべてを考えていかねばならないところは、まさに教育と同じであるということに気づかされました。物事を一点から見るのではなく、視野を広く持って、多くの視点から見ることの大事さを確認できました。



「工学、農学、理学、医学、経済学、法学、文学」すべてが関係してくるということを考えさせられる内容で一気に引き込まれました。これまで農地・里山は開発予備地として市街地に関係なく并存されていました。それでは、災害の際に食糧供給であったり、避難であったり都市機能の継続を図る上で機能が悪いことから、これからは農地・里山が市街地に食糧や生態系サービスを提供し、そのことから共存共栄を図れるように市街地が農地・里山の持続性を担保していくことが必要であると述べられました。新型コロナウイルス感染拡大から広まったりネットワークにより、遠くにも仕事ができるようになってきており、住みやすさや生活しやすさを追求していく時代になるということです。少し前までは考えられなかったような時代になってきました。人口減の問題もそうですが、都市計画が理系だと思っていた私にとっては、その土地の歴史やコミュニティなど文系要素がふんだんに盛り込まれており、すべてを考えていかねばならないところは、まさに教育と同じであるということに気づかされました。物事を一点から見るのではなく、視野を広く持って、多くの視点から見ることの大事さを確認できました。

これまで農地・里山は開発予備地として市街地に関係なく并存されていました。それでは、災害の際に食糧供給であったり、避難であったり都市機能の継続を図る上で機能が悪いことから、これからは農地・里山が市街地に食糧や生態系サービスを提供し、そのことから共存共栄を図れるように市街地が農地・里山の持続性を担保していくことが必要であると述べられました。新型コロナウイルス感染拡大から広まったりネットワークにより、遠くにも仕事ができるようになってきており、住みやすさや生活しやすさを追求していく時代になるということです。少し前までは考えられなかったような時代になってきました。人口減の問題もそうですが、都市計画が理系だと思っていた私にとっては、その土地の歴史やコミュニティなど文系要素がふんだんに盛り込まれており、すべてを考えていかねばならないところは、まさに教育と同じであるということに気づかされました。物事を一点から見るのではなく、視野を広く持って、多くの視点から見ることの大事さを確認できました。